



大淀中だより

学校教育目標 「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校
学校だより
令和8年(2026)2月25日
校長 塩見 登

(第2回) 学校教育力向上に向けたアンケート結果 (生徒回答)

前号で掲載いたしました「学校教育力向上に向けたアンケート」の保護者回答に引き続き、生徒回答の集計結果を紹介いたします。この結果につきましては、学校運営協議会・教職員と共有し、今後の学校改善につなげて参ります。

*数値は「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した人数をあわせた割合になっています。

*令和7年度前期より3%以上上がった(↑) *令和7年度前期より3%以上下がった(↓)

設 問	前期	後期
(1) 予習復習をきちんとできている	45%	43%
(2) 宿題はきちんと忘れず提出できている	74%	78% ↑
(3) グループ学習では仲間と相談しながら、自らの課題を見つけて取り組んでいる	75%	76%
(4) 文章の読解力や作文・発表等の表現力が増してきた	62%	60%
(5) 授業は楽しい	70%	68%
(6) 授業はわかりやすい	77%	77%
(7) 学力を伸ばし、自らの進路実現を達成したい	85%	84%
(8) 授業を受ける前に教室の美化、机椅子はきちんと整理されている	74%	73%
(9) 学校生活は全般的に楽しく過ごせている	86%	87%
(10) 学校行事を前向きに取り組んでいる	85%	84%
(11) 友達と仲良く過ごせている	89%	94% ↑
(12) 自分にはいいところがある	68%	67%
(13) 将来の夢がある	67%	61% ↓
(14) 困ったときに相談できる友達がいる	83%	85%
(15) 自らすすんで挨拶ができています	70%	69%
(16) 学校のルールは守れている	86%	84%
(17) 地域の行事には積極的に参加している	30%	26% ↓
(18) 自分の住んでいる町に愛着を持っている	64%	66%
(19) 早寝、早起きを心がけている	52%	48% ↓
(20) 朝ごはんを毎日食べている	81%	78% ↓
(21) 朝の検温など、健康観察をしっかりと行っている	28%	14% ↓
(22) ハンカチを持ってきている	44%	43%

学校生活について

学校生活に関する項目では、前期と同様 90%近い数値になっております。特に(11)「友達と仲良く過ごせている」の項目では、前期より 5 ポイント上昇しております。要因としては、本校が取り組んでいる協同学習におけるピア活動や 2 学期の行事で仲間意識がさらに芽生えたことなどが考えられます。また、今年度より新しい取組として総合的な学習の時間(探究活動「ドリゼミ」)の縦割り活動から交流関係が横の関係から縦の関係にも広がったことも影響しています。これらの取組は、来年度も今年度の反省も踏まえて子どもたちにとってより良い学びになるように改善していきます。

学習面について

設問(4)「文章の読解力や作文・発表等の表現力が増してきた」の項目では 60%の生徒が達成できたと感じています。まだまだ改善の余地はあります。教職員のアンケートでは、表現力を中心に授業をすることに意識しているという意見が最も多かったという結果が出ています。このことは、教職員の目指しているところと生徒が感じている理解が一致していないことがわかります。来年度は、表現力・質問力向上に教職員一丸となって研究を進めていきたいと考えています。

□■家庭生活について■□

家庭生活に関わる設問においては、前期より数値が若干減少しています。思春期の時期は、子どもの心が大きく揺らぐ時期であり、子育てに難しさを感じることも多くなります。だからこそ、“地域の子供は地域で育てる”という“京都はぐくみ憲章”の理念の元、秋季大祭神輿渡御などの地域行事への積極的参加や総合学習で実施しています地域調べなどを通して、来年度以降も地域と協力した学校運営を行ってまいりたいと考えています。

●○進路実現に向けて（高校入試）○●

2月10日（火）から私立高校の選抜試験が本格的にスタートしました。16日（月）からは公立高校の前期選抜が行われ、24日（火）に合格発表が行われます。そして、3月6日（金）には公立高校の中期選抜が行われます。3年生は自分の進路に向き合うと共に、自分自身についても考え進路選択を行います。全員が、希望する進路に進めることを願っています。来年度から入試制度が大きく変更になります。1年生も2年生も含めてまずは目の前にある学習と向き合って欲しいと思います。

◆◆ いじめ対策委員会 ◆◆

5月の学校だよりでもお伝えしましたが、再通知させていただきます。本校では、定期的にいじめ対策委員会を開き、いじめの未然防止やいじめ問題に対する組織的な対応に取り組んでいます。ご心配なことや気がかりなことがございましたら、担任・学年の教員にお気軽にご相談ください。また、ホームページ上に京都市立大淀中学校『学校いじめの防止等基本方針』を掲載しております。以下は、令和7年度「いじめ対策委員会」のメンバーです。

塩見登 新庄泰子 眞田宗明 長谷川善輝 上良祐子 藤田綾美 前川達郎 岡本眞刀 小西太二 伊藤律子 古川秀明

～淀から世界へ(校長の独り言)～

時は20世紀。1999年4月。新年度が始まるこの時期、26歳の私も胸の高まりが最高潮に達していました。厳しい日本社会から脱出できるそんな思いで。青年海外協力隊の試験を突破し、晴れてアフリカジンバブエにソフトボールコーチとして派遣されることが決定しました。航空券を握りしめ、伊丹空港へ。向かう先は福島空港！福島から国際便？違うのです。ここから過酷な79日間の訓練が始まるのです。協力隊に合格した人は、全員すぐには青年海外協力隊員になれるわけではないのです。まずは、隊員候補生となるのです。どういうことかということ、これから始まる79日間のサバイバル訓練に耐えることが出来た人だけが晴れて青年海外協力隊員として世界各国に派遣されるのです。日本全国訓練所は3か所。東京広尾、長野県駒ヶ根、福島県二本松。それぞれの国や言語によって訓練所が分かれます。アフリカジンバブエは、大外れ！？の福島県二本松。いざ二本松へ。夢を乗せた飛行機は伊丹空港を飛び立ちます。機内からのアナウンス。“ただいま、福島近郊が濃霧のため着陸できず成田空港へ向かいます”“えっ？福島ってどなたとこ？”幸い1時間ほどの待機で無事福島に向かうことができ、二本松へ。電車の駅を降り立つと二本松市民からの熱烈な歓迎に感動。不安な気持ちで降りた若者たちの気持ちを温かい気持ちにさせてくれます。そこから山道を30分、バスに揺られ残雪ある安達太良山の麓に“ポツンと一軒家“ばりに、立派な建物が突如現れます。訓練所には、無事カエル像とキョツケ池があり全員が厳しい環境での発展途上国での活動をするこへの緊張感を与えてくれます。日本全国から150人程度の若者が集っての共同生活が始まります。6時起床。全員で体操からマラソン。朝から夕方まで語学訓練。様々な言語に分かれての訓練。もちろん英語圏は非常に多く20グループ。実力テストでレベル別に分けられ、なんと下から3番目。中学生レベルからのスタート。授業後も宿題で勉強。平日の門限は18時。語学勉強以外には、異文化を理解する為の訓練、国際協力の基礎、縄編みや散髪技術、泥水からろ過、生きた鶏の調理、犯罪対策の知識や対策他、一番つらかったのがワクチン接種。黄熱病、狂犬病、ポリオなど約2週間に一度、注射を受けます。あまりの予防接種の多さに最後の方は、もう好きにしようという感じで腕を出す感じです。“まさしく訓練”です。一見、大変そうに聞こえますが、私にとっては天国でした。最高に楽しかった。最高な仲間に出会えた。ここに集まる若者は夢の塊でした。これから日本を代表して、発展途上国の人たちと一緒に活動する。そんな熱い思いを持った人たちの集まりです。お互いの夢を語り合う。そんな仲間たちとの出会いが、日本社会からの脱出という目的から、ソフトボールをジンバブエに広めたいと本気の夢へと変わっていくのでした。次号は、今年度最終号になります。スペースの都合上、掲載は来年度に続けたらと希望しています！！？